

教育研究業績書

令和 5 年 5 月 1 日

氏名 張允麿

研究分野	研究内容のキーワード	
比較文化 文学 韓国語	比較文化研究・多文化共生・近代文学・ 実践韓国語教育・教科書研究	
教育上の能力に関する事項		
事 項	年 月 日	概 要
1. 教育方法の実践例 * 実践的な韓国語の授業 ① ペア アクティビティ	平成 16 年 4 月 ～現在	学習者が学んだ単元の文法内容をより確実に身につけられるように学習者同士で会話練習を出来るような時間を与える。各単元のスキットは授業中に暗記し、ペアで演じることまで行う。
② グループ アクティビティ	平成 20 年 4 月 ～現在	年一回グループ別会話試験を行い、韓国語で歌・劇・紙芝居・コント・プレゼンテーションなど学習者が直接テーマを決め、台本を作り、練習したものを演じてもらう。その後発音と文法内容をフィードバックし、もう一度発表するのを録画し、字幕付きの動画を作る。Activity を用いて自然な発音になれるように指導する。常に刺激と緊張感がある講義に構成しようとする意図である。
* 文学の講義 導入、基本的段階—パワーポイントによる講義進行	平成 26 年 8 月 ～現在	古典文学を言語だけではなく、メディア資料を用いて、理解を深める。作品分析に必修条件である歴史の同時代性と作者と読者との関係を総合的に把握できるスライドを作成する。
活動、学習段階—グループ討論形式	平成 26 年 8 月 ～現在	作品の問題提起を話し合い、その問題を解決する方法を討論し、自分の主張と他人の主張を交換することで作品の理解を深める。
応用段階—原作と映画の比較	平成 26 年 8 月 ～現在	現代小説はほとんど映画化されていることから、相違点からみられる原作の特徴と焦点によってかわる作品の解釈を試みる。

日本語に翻訳された作品を中心に配布資料を作る (その他) 少人数のクラスでは学習者がポートフォリオ作成	平成 26 年 8 月 ～現在	配布資料の配布順に重点をおく。作品情報がない状況で一部のエピソードを配布し、解釈してから作品情報を得てから作品全体を把握させることで作品解釈の変化から学習できることを学習者が見つけられるようにする。 自己学習管理や学習目標へ到達するまでの過程を記録させる。
2. 作成した教科書、教材 『コミュニケーション韓国語聞いて話そう II』 『マレバヨ韓国語初級』 *副教材 教師が作ったメディア副教材	平成 28 年 4 月 ～現在	白帝社、全 12 課、B5 判 総 120 頁 白帝社、全 24 課、B5 判 総 120 頁 授業で使用する教材の各単元のスキットを分かりやすくするために、3D アバターにスキットを吹き込み、講義で見せてロールプレイの手本として活用する。
各教材の書き取りシートと FLASH カード作成	平成 16 年 4 月 ～現在	各単元のスキットや練習問題を書き、学習に正確さを補うための書き取りシートを作成し、書かせる。学習に必要な語彙をカードに作成し、練習を重ねてからかるたゲームをする。PPT には FLASH カードに音声データ付きのスライドで学習する。単語はイラストで覚えさせ、イラストクイズで語彙学習を図る目的で作った。
韓国文化と言語のメディア教材	平成 16 年 4 月 ～現在	韓国の音楽やコンテンツ、韓国テレビニュースの天気予報（聴解）、TV 童話（長文読解）、「愛している韓国語」（韓国語誤用表現）、韓国料理、韓国歴史ドキュメンタリーなどのメディア教具 その内容に対応する映像を講義の中で取り込み、原作の特徴をより明白に確認する。
3. 教育上の能力に関する大学等の評価 北九州市立大学	平成 28 年	朝鮮語 1～8 「学生授業評価」の平均 4.75 以上

久留米大学	平成 28 年	アクティビティーが多くて楽しいという書き込み 韓国語 1, 2 「学生授業評価」の平均 4.4 以上 PPT が分かりやすいという書き込み インテンシブ韓国語 1, 2 「学生授業評価」の平均 4.8 以上
九州産業大学	平成 28 年	韓国語 1~4 「学生授業評価」の平均 4.65 以上 わからない時一人一人丁寧に説明してくれたという書き込み
福岡大学	平成 28 年	コミュニケーション朝鮮語 1.3 「学生授業評価」の平均 4.6 以上 たくさん話せた、プレゼンテーションのやり方が分かったと書き込み
4. 実務の経験を有する者についての特記事項 韓国人の名字と名前から韓国文化を観く	平成 29 年 10 月 27 日	久留米大学公開講演「(再掲)」 韓国の名字と名前、改名制度の簡略化を紹介し、コンテンツ資料から確認できる改名や整形ブームで見られる韓国人の儒教的考え方について講演
5. その他		CALL 教室のしようと Moodle を取り込む講義を運営する。 パソコン処理作業や通信機器による副教材作成
職務上の実績に関する事項		
事 項	年 月 日	概 要
1. 資格、免許	平成 15 年 2 月 平成 18 年 3 月 平成 28 年 5 月 平成 25 年 10 月	学士 (文学) の学位取得 (東国大学校 2002 (学) 2884 号) 修士 (教育学) の学位取得 (佐賀大学教総証第 01975 号) 博士 (比較社会文化) の学位取得 (九州大学比文博乙第 41 号) 韓国語教員養成課程修了 (梨花女子大学第 K2013-01-41 号)

	平成8年12月	日本語能力試験1級(11年間11回合格)
2. 特許等		
3. 実務の経験を有する者についての特記事項		
4. その他		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 『コミュニケーション韓国語聞いて話そうⅡ』	共著	2016年4月	白帝社	長谷川由紀子共著、B5判全12課、総180頁 大学生が実際に直面しそうな場面やテーマをめぐり、コミュニケーション能力を高める目的の教材である。
『マレバヨ（話してみよう）韓国語初級』	共著	2020年	白帝社	長澤雅春共著、B5判、全24課、総185頁 大学生が韓国語学習に必要な基礎内容と応用会話でテーマをめぐり、コミュニケーション能力を高める目的の教材である。漢字は留学生のためにすべてルビをつけてある。

(学術論文) 査読有 1 日帝植民地時代の在日朝鮮人の文学 一張赫宙を中心にー	単著	2006年2月	佐賀大学大学院教育学研究科	修士学位論文、総113頁 植民地時代の在日文学と媒介を調査し、とりわけ張赫宙文学における再評価の必然性を考察した。
2 テクスト構造にみる「深淵」ー「深淵の人」と張赫宙ー	単著	2008年3月	九大日文 第11号	pp52-69 テクストに表れる深淵を通して作者の創作活動における深淵を考察した。
3 朝鮮人農民の夢と涙ー『開墾』の万宝山事件を中心にー	単著	2008年11月	近代文学論集第34号	pp83-93 朝鮮農民の移住経路と定着過程において満洲という空間がもつ二層構造を考察した。
4 植民地期における「内鮮結婚」の実体ー「秘苑の花」と「虹を架ける王妃」を通してー	単著	2009年12月	国際言語文学第18号	pp137-189 日本と朝鮮の政略結婚と言われたものが実際一個人としての愛情からなされ、政略結婚が残したもののは二人の息子晋の犠牲であることを論じた。
5 朝鮮戦争をめぐる日本とアメリカ占領軍ー張赫宙『嗚呼朝鮮』論	単著	2010年6月	社会文学第32号	pp157-171 朝鮮戦争における帝国主義の記憶とイデオロギー対立から逃れようとする登場人物を通して連鎖する帝国に対して批判的であると論じた。
6 張赫宙文学における失郷民ー『開墾』と「第二の鍬」を通してー	単著	2011年4月	敍説 III-06	pp55-73 朝鮮農民の開拓民と日本の開拓民がもつ類似点を考察することで失郷民の表象を論じた。
7 「張(野口)赫宙の日本語文学における弱者ー中間者たちの軌跡ー」	単著	2016年5月	九州大学大学院比較社会文化	博士学位論文 総356頁 張赫宙文学において描かれている弱者の表象から逸脱する中間者の存在を見出し、各作品から登場する中間者が終戦後の作家自身のアイデンティティに近づいていると論じた。

8 「言語・文化融合型テキストを用いた主体的な学びに関する考察—韓国語学習を事例に—」	共著	2020年3月	山口県立大学 國際文化学部紀要	文化リテラシーの向上を目指すテキスト作りと実例を通して韓国語文化授業で必要とされる点を論じた。
書評及び書誌				
9 旧日帝時代「朝鮮」作家・金南天作品「姉弟」「灯かり」翻訳	共著	2005年12月	佐賀大国文34号	pp38-61 植民地時代の金南天作品「姉弟」「灯かり」の翻訳と紹介
10 小説公園総目次（上）	単著	2007年8月	敍説III-01号	pp257-280 張赫宙の作品を発掘するために行った調査したものを総目次に作成
11 小説公園総目次（下）	単著	2008年2月	敍説III-02号	pp217-249 張赫宙の作品を発掘するために行った調査したものを総目次に作成
12 小説公園総目次 人名索引	単著	2008年12月	敍説III-03号	pp158-172 張赫宙の作品を発掘するために行った調査したものを総目次と人名索引を作成
13 新資料・張赫宙草稿「朝鮮八割・日本二割の取材」の紹介ならびに解説	単著	2012年3月	九大日文第19号	pp64-72 張赫宙の草稿から読み取れる朝鮮と日本の文化的な混濁性をもつアイデンティティの生成過程を窺えると解釈
14 「李王家悲史秘苑の花」解説	単著	2014年6月	共栄書房	総282頁中、pp271-280 この作品が創作される当時の背景と目的を紹介し、作品の中に埋め込まれた弱者の表象を解釈
15. 「オンラインによる韓国語教育におけるアクティビティの実践報告」	単著	2023年3月	佐賀女子短期大学研究紀要第57集第2号	pp101-112 新型コロナウイルスで余儀なく実施されたオンライン授業で、合理的に学習効果がアップできた教授法を中心に実践報告や対面授業でも用いられる教授法を共有し、今後の展望について述べて述べた。

(その他) 講演会 韓国人の名字と名前から韓国文化を覗く	単独	2016年10月27日	久留米大学公開講演	韓国人の名字と名前、改名制度の簡略化を紹介し、コンテンツ資料から確認できる改名や整形ブームで見られる韓国人の儒教的考え方について講演
学会発表 1 張赫宙と中島敦の朝鮮	単独	2005年11月12日	日本近代文学会九州支部秋季大会（査読有）	張赫宙文学と中島敦文学における朝鮮像を考察する発表
2 研究報告 張赫宙の『無窮花』を読む	単独	2006年7月15日	日韓フォーラム	テクストにおけるイデオロギー対立から見せる他者性について発表
3 張赫宙作「深淵の人」—深淵の行方	単独	2007年10月6日	第6回九州大学日本語文学会（査読有）	テクストに表れる深淵を通して作者の創作活動における深淵を考察擦る発表
4 朝鮮人ディアスボラの夢と涙—『開墾』の万宝山事件を中心にして—	単独	2008年6月14日	日本近代文学会九州支部春季大会（査読有）	朝鮮人農民の移住経路から窺えるディアスボラの表象を考察する発表
5 植民地期における「内鮮結婚」の実体—「秘苑の花」と「虹を架ける王妃」を通して—	単独	2008年11月13日	第13次国際言語学会学術（韓国、査読有）	日本と朝鮮の政略結婚と言われたものが実際一個人としての愛情からなされ、政略結婚が残したもののは二人の息子晋の犠牲があったことを考察する発表
6. 授業で実践したアクティビティの紹介—自己紹介のアクティビティ	単独	2010年8月28日	第15回福岡韓国朝鮮語研究会	自己紹介のスキットのグループ対グループ練習の効果とワークショップ
7 張赫宙文学におけるディアスボラの表象—『開墾』と「第二の鍬」を通して—	単独	2010年10月16日	東アジア学会 学会設立20周年記念大会（査読有）	朝鮮農民の開拓民と日本の開拓民がもつ類似点からディアスボラの表象を見出し、張赫宙文学における一つの連続性を考察する発表

8 「断崖」という媒介物—張赫宙文学のディアスボラへの接近過程を読む	単独	2011年10月1日	第10回九州大学日本語文学会（査読有）	張赫宙文学における諸作品における「断崖」というキーワードがもつ意味を考察する発表
9 スマートフォン・タブレットを用いる副教材作成	単独	2014年10月18日	第32回福岡韓国朝鮮語教育研究会	仕事効率を高める音声認識アプリを使うドリルシート作成と3Dアバター作成を用いる副教材作法を発表
10 対人コミュニケーション能力向上の実践教育（その一）—ビデオ作成を通して	単独	2016年12月18日	朝鮮語教育学会 第二言語習得論分科会	グループ活動を通してビデオ作成した実践教育例を挙げ、その結果としてコミュニケーション能力向上に至った経緯を報告する。また、この活動に教師に求められる事前説明と五段階で行われる詳細と問題点に携わる。
11 張（野口）赫宙文学における朝鮮戦争小説の「中間者」とアイデンティティの表象	単独	2018年10月7日	第69回 朝鮮学会大会 於、天理大学	張赫宙の朝鮮戦争を題材にした小説で、作中における権力構造から発生する「中間者」の存在が必然的であるかを考察
12 日本の大学生がもつ韓国への関心及び韓国語学習—文化リテラシーの向上を目指すテキストづくりー	共同	2019年9月21日	第57回韓国日本文化学会秋季国際学術大会 於、韓南大学校	語学科目における文化リテラシー学習のニーズ確認した上で、文化リテラシーの向上を目指すテキストづくりを通して育成する人材像の変化に対応できる実践教育を発表。